

2019年3月期決算発表 補足資料

2019年4月26日  
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□は2019/3公表値

	2018年3月期 ※ 通期		2019年3月期 通期		前期比	2020年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		見通し	構成比	
	億円		億円			億円		
売上高合計	4,511	100%	4,620 4,635	100%	+3%	4,900	100%	+6%
<海外売上高合計>	<3,273>	73%	<3,294>	71%	+1%	<3,500>	71%	+6%
営業利益 (%)	(16%) 700		630 (14%) 647		△8%	(14%) 700		+8%
電力関連事業	544	12%	498	11%	△8%	440	9%	△12%
営業利益 (%)	(-) △47		(-) △85		-	(-) △55		-
セラミックス事業	2,407	53%	2,514	54%	+4%	2,800	57%	+11%
営業利益 (%)	(24%) 567		(22%) 559		△1%	(22%) 610		+9%
エレクトロニクス事業	613	14%	588	13%	△4%	600	12%	+2%
営業利益 (%)	(1%) 9		(-) △3		-	(3%) 15		-
プロセステクノロジー事業	947	21%	1,034	22%	+9%	1,060	22%	+2%
営業利益 (%)	(18%) 171		(17%) 176		+3%	(12%) 130		△26%

※2019年3月期より事業セグメントを変更しています。この変更に伴い、2018年3月期の経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

		(売上高比)		(売上高比)	前期比		(売上高比)	前期比
経常利益	706	(16%)	630 644	(14%)	△9%	710	(14%)	+10%
親会社株主に帰属する 当期純利益	458	(10%)	345 355	(8%)	△22%	470	(10%)	+32%
ROE	10.4%		7.6%			9.6%		
1株利益	142.42円		110.35円			146.06円		
配当金(配当性向)	44円(30.9%)		50円(45.3%)			50円(34.2%)		

設備投資	717	(16%)	1,053	(23%)	+47%	1,200	(24%)	+14%
減価償却費	303	(7%)	357	(8%)	+18%	430	(9%)	+20%
研究開発費	211	(5%)	233	(5%)	+10%	250	(5%)	+8%

為替レート(円/USD)

111

111

110

為替レート(円/EUR)

129

128

125

2019年3月期 実績 … 前期比 増収・減益 売上高は過去最高を更新 \* 売上高 4,511億円(2018年3月)

① 業別業績概況(売上高・営業利益)

【電力関連】……………減収・赤字拡大

- ・がいし 国内は電力会社の設備投資抑制により低調。海外は中国を中心に出荷が減少。競合激化に伴う業績の悪化を受け、中国生産子会社の解散を決議。
- ・NAS 国内外共に大口案件の出荷はなく赤字。

【セラミックス】……………増収・減益

- ・自動車関連 排ガス規制強化に伴い、センサー、GPF(ガソリン・パティキュレート・フィルター)の物量が増加し増収。利益は償却費、開発費増等により減益。

【エレクトロニクス】……………減収・減益

- ・電子部品 HDD 用圧電素子、ウエハーの需要が増加した一方、中国の携帯基地局投資の停滞によりセラミックパッケージの需要が減少し減収・赤字。
- ・金属 タイヤ金型の出荷減少により、減収・減益。

【プロセステクノロジー】……………増収・微増

- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーのメモリー投資延期を背景に下期に需要減速も、前期比で増収。利益は償却費等の増加により前期並み。
- ・産業プロセス 低レベル放射性廃棄物処理装置や加熱装置の増加等により増収・増益。

② 為替影響

- ・前期比 売上高 △12 億円、営業利益 △8 億円  
(前期 111 円→当期 111 円/USD、129 円→128 円/EUR)

③ 特別損失 固定資産減損損失 109 億円(パッケージ 55 億円、がいし 31 億円ほか)  
がいし中国子会社清算で関係会社事業損失 30 億円を計上。

④ 配当 期末 25 円 (中間 25 円と合わせ年間 50 円、前期比 +6 円)

2020年3月期 見通し … 前期比 増収・増益の見通し 売上高は2019年3月期最高の更新を目指す。

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

【電力関連】……………減収・赤字縮小

- ・がいし 国内は電力会社の設備投資抑制が続くほか、中国生産子会社の解散により海外向けも売上減となり減収。子会社の清算効果や人員削減等を反映し赤字縮小を目指す。
- ・NAS 需要は低調で赤字が継続する見通し。

【セラミックス】……………増収・増益

- ・自動車関連 欧州・新興国の乗用車販売台数増に加え、排ガス規制強化により GPF が急増するなど需要が増加。償却費や開発費の増加を物量増で吸収し、増収・増益の見通し。

【エレクトロニクス】……………増収・黒字化

- ・電子部品 車載・産業機器向けにパッケージ製品の絶縁放熱回路基板の需要が拡大し増収。2019年3月期の固定資産減損に伴う償却費の減少や生産性改善により黒字化を目指す。2019年4月に新製品(チップ型セラミックス二次電池 EnerCera®シリーズ)を事業化。

【プロセステクノロジー】……………増収・減益

- ・半導体製造装置用製品 半導体設備投資は調整局面が続く、回復時期は年明けになると想定。2020年度以降の需要拡大に向けた多治見工場の立ち上げ費用・償却費等を織り込み、増収も減益の見通し。

② 為替影響

- ・前期比 売上高 △37 億円、営業利益 △6 億円  
(前期 111 円→当期 110 円/USD、128 円→125 円/EUR)

- ・年間1円当たりの影響 USD(売上高 13 億円、営業利益 5.6 億円)  
EUR(売上高 8 億円、営業利益 0.9 億円)

③ 配当予想 中間 25 円、期末 25 円(年間 50 円)

〔セグメント間売上消去後〕

	2018年3月期 ※ 第2四半期累計期間		2019年3月期 第2四半期累計期間		2020年3月期 第2四半期累計期間		前年 同期比
	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
	億円		億円		億円		
売上高合計	2,198	100%	2,282	100%	2,300	100%	+1%
<海外売上高合計>	<1,615>	73%	<1,644>	72%	<1,650>	72%	+0%
営業利益 (%)	(16%) 359		(16%) 357		(12%) 270		△24%
電力関連事業	272	12%	242	11%	200	9%	△17%
営業利益 (%)	(-) △21		(-) △31		(-) △35		-
セラミックス事業	1,185	52%	1,226	54%	1,360	59%	+11%
営業利益 (%)	(24%) 290		(24%) 289		(19%) 265		△8%
エレクトロニクス事業	299	13%	303	13%	280	12%	△7%
営業利益 (%)	(0%) 0		(1%) 3		(0%) 0		△100%
プロセステクノロジー事業	442	19%	511	22%	460	20%	△10%
営業利益 (%)	(20%) 90		(19%) 97		(9%) 40		△59%

※2019年3月期より事業セグメントを変更しています。この変更に伴い、2018年3月期の経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

		(売上高比)		(売上高比)		(売上高比)	前年 同期比
経常利益	342	(15%)	342	(15%)	250	(11%)	△27%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	198	(9%)	247	(11%)	170	(7%)	△31%

設備投資	320	(14%)	508	(22%)	750	(33%)	+48%
減価償却費	145	(6%)	172	(8%)	200	(9%)	+17%
研究開発費	100	(4%)	106	(5%)	120	(5%)	+14%

為替レート(円/USD) 111 110 110

為替レート(円/EUR) 127 130 125